

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

今週の報道発表の中で、RPPC に関連するものは特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度第 1 回汚染土壌事業化 PT 開催のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾における中長期政策、港湾分科会に論点整理案示す
2. 神戸港、大阪港で一部変更計画、港湾分科会で了承
3. 舞鶴港を核とした地域活性化方策を検討

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度第 1 回汚染土壌事業化 PT 開催のお知らせ

平成 28 年度第 1 回汚染土壌事業化 PT は、下記の通り明日開催致します。部会員の皆様、よろしくお願い致します。

日程：平成 28 年 7 月 14 日（木）14：00 から 15：30  
場所：みなと総研 3 階会議室

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾における中長期政策、港湾分科会に論点整理案示す

国土交通省港湾局は 7 月 4 日に開催した交通政策審議会第 64 回港湾分科会で、2030 年を見据え策定作業中の『港湾における中長期政策』に関して、港湾の果たすべき役割など 22 項目の論点整理案を示して、委員から意見を聴いた。同政策は今年度末に中間取りまとめを行い、来年度に策定することになっている。

同論点案には「循環型社会への貢献」も盛り込まれており、災害廃棄物や循環資源の国際的な需要への対応を視野に、各リサイクルポートの機能強化を進めるとともに、循環産業の更なる展開を通じて広域的な静脈ネットワークの活用を図る、としている。

【港湾空港タイムス】

-----

2. 神戸港、大阪港で一部変更計画、港湾分科会で了承

7 月 4 日に開催された交通政策審議会港湾分科会において、神戸港と大阪港の港湾計画の一部変更が審議され、いずれも適当であると答申された。

神戸港では六甲アイランド地区の水深14m岸壁(RC4、5バース)延長880mを水深16m化するほか、神戸空港地区の水深7・5m岸壁延長130mを延長195mに変更した。大阪港ではフェリーの船型大型化に対応するため、南港地区の水深7・5m岸壁延長230mを250mに変更した。

【港湾空港タイムス】

### 3. 舞鶴港を核とした地域活性化方策を検討

近畿地方整備局舞鶴港湾事務所は今年度、舞鶴港を核とした地域活性化方策を検討する。舞鶴港は太平洋側諸港のリダンダンシーとしての機能が期待されており、国際フェリー、エネルギー供給基地などの役割が求められている。ただ現状の舞鶴港にはこうした新たな港湾機能のための係留施設が不足しているほか、新規に立地出来る用地の余裕もない。地域活性化方策の検討では、長期的な視点から国際フェリーバース基地やエネルギー産業立地要請に応えられるようその施設計画などについて検討し、港湾を核にした地域活性化方策のための基礎資料とする。

【港湾空港タイムス】

発行所：RPPC 広報部会

部長：徳田 英司	新日鐵住金(株)
部会員：山崎 和宣	五洋建設(株)
木村 竜也	東京都
梅木 重光	(株)酒田港リサイクル産業センター
紫牟田 和隆	光和精鉱(株)
新谷 聡	りんかい日産建設(株)

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団(内) 担当：本野、清水、菖木

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

- 会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。